

付録資料2 高齢者と図書館に関する文献リスト

参考文献

このリストは、2012年刊行の『高齢社会につなぐ図書館の役割』（学文社）第2章の「参考文献」をもとに、国立国会図書館の所蔵資料のキーワード検索および2013年（平成25年）以降刊行論文の参考文献リストから図書館と高齢者の双方に関連する文献を追加したものであり、網羅的なリストではない。なお、分類については本調査研究の問題意識に基づきあくまでも目安として設定したものであり、複数領域にまたがるものはどれか1つの領域に位置づけた。

※ウェブ公開版の最終確認日はいずれも2017年（平成29年）2月27日である。

1. 図書館と高齢者

1. 明石浩. 特集, 団塊の世代と図書: 団塊世代、そして、その次の世代を「ワクワクする図書館」へ. 図書館雑誌. 2007, 101(4), p.226.
2. 天野良枝, 河合美奈子. “第5章 元気はいたつ便”. 地域活性化志向の公共図書館における経営に関する調査研究: 地域活性化志向の公共図書館における経営に関する調査研究. 国立国会図書館関西館図書館協力課, 2014, p.101-133. info:ndljp/pid/8649952.
3. 新井恭子. シニアと公共図書館の有効利用: ビジネス支援が引き出す個人と地域の創造性. 情報化社会・メディア研究. 2008, 5, p. 51-60.
4. アントネッラ・アンニョリ, 萱野有美訳. 知の広場 図書館と自由. みすず書房, 2011, 251p.
5. 伊藤剛雄. 特集, いま求められている「高齢者サービス」とは 胆沢町立図書館における高齢者への図書提供サービスの実践事例. 図書館雑誌. 1999, 93(7), p.530-531.
6. 猪谷千香. つながる図書館; コミュニティの核をめざす試み. 筑摩書房, 2014, 238p.
7. 犬飼裕貴, 大島泉奈, 鈴木来未, 柳澤忠成, 中井孝幸. 高齢者の居場所としての図書館を含む複合施設の機能連携に関する研究 (4.建築計画). 東海支部研究報告集. 2016, (54), p. 373-380.
8. 井上靖代. “高齢者サービス”図書館サービス論”. JLA 図書館情報学テキストシリーズ; II-3. 小田光宏編. 日本図書館協会, 2010, p182-185.
9. 入江有希. 特集, 高齢者と図書館: 英米の高齢者サービスガイドラインに見る高齢者観. 現代の図書館. 2006, 44(3), p/127-132.
10. 打越千恵子, 前田竜一. インタビュー葛飾区立中央図書館の取り組み: シニアサービスを中心に. Lisn: Library & information science news. 2015, (165), p.13-20.
11. 浦田あい. 神奈川県立図書館における社会参画を目指した高齢者向けサービスの可能性. 神奈川県立図書館紀要. 2014, (11), p.3-24.
https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/information/pdf/kiyou011/kiyou011_01.pdf.
12. ALA. Guidelines for Library and Information Services to Older Adults. American Library Association. 2008, <http://www.ala.org/rusa/resources/guidelines/libraryservices>.
13. 江藤茂博. 図書館サービスから地域コミュニティ形成の問題へ—少子高齢化の現状および課題として. コルヌイエ: 十文字学園高齢社会生活研究所紀要. 2003, (5), p.1-11.
14. 江藤茂博. 少子高齢化社会の課題と図書館 (アンケート調査と報告 1). コルヌイエ: 十文字学園高齢社会生活研究所紀要. 2003, (5), p.13-15.
15. 近江哲史. 特集, シニアと図書館: シニアはきょうも図書館に出かける. 図書館の学校. 2005,(68), p.8-12.
16. 近江哲史. 図書館に行ってくるよ シニア世代のライフワーク探し. 日外アソシエーツ, 2003, 270p
17. 大島秀明, 酒井要. 地域複合図書館における高齢者の利用特性: 福山市の場合. 福山大学工学部紀要. 2014, 37, p.85-90.
18. 大島秀明. 高齢者の居場所としての図書館の可能性. Lisn: Library & information science news. 2013, (157), p.1-4.
19. 大橋一二. 特集, 利用者を知り, 資料要求をとらえるために: 高齢者と図書館. 図書館界. 1989, 40(5), p.228-235.
20. 風間智子. <短報>日本の公共図書館における高齢者サービスの現状と展望: 設置母体と高齢化率による比較. Library and information science. 1997, 37, p.55-70.
21. 加藤ひろの, 伊藤昭治, 西尾恵一, 村林麻紀, 脇坂さおり ほか. 高齢者一人一人の公共図書館へのニーズ. 図書館界. 2014, 65(6), p. 362-375. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009805176>.

22. 神奈川県座間市東地区文化センター. 実践事例高齢者学級"あすなろ大学"—受け身の学習から発信する学習へ, 月刊公民館. 2005, (581), p.4-8.
23. 金森直美, 梅田米大. 特集, シニア世代と図書館: 図書館で「自分史講座」シニア世代の生きがいを支えたい! 吹田市立千里図書館からの報告. 図書館雑誌. 2014, 108(5), p.316-317.
24. 川崎良孝. 公立図書館の社会的役割: インクルージョンかエクスクルージョンか(京都大学生涯教育学講座シニアキャンパス実施記念号). 京都大学生涯教育学・図書館情報学研究. 2005, 4, p.57-64. <http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/43855/3/KJ00004183987>.
25. 川島勉. 特集, 団塊の世代と図書: "神話"はウソかホントか? 図書館は団塊世代を断固挑発せよ! 図書館雑誌. 2007, 101(4), p.216-217.
26. 河野理恵. 高齢者のメタ記憶—読書行動との関連から—. 日本教育心理学会総会発表論文集, 1997, (39), p.423.
27. 木野修造. 特集, 高齢者と図書館利用者高齢化への空間的配慮. 現代の図書館. 2006, 44(3), p.140-149.
28. 後藤久夫. 特集, 高齢者と図書館: アメリカの公共図書館での高齢者サービス. みんなの図書館. 1986, (112), p.26-33.
29. 小林ソーデルマン淳子, 吉田右子, 和気尚美. 読書を支えるスウェーデンの公共図書館; 文化・情報へのアクセスを保障する空間. 新評論, 2012, 246p.
30. 近藤秀二. 少子高齢化社会と図書館の現在(アンケート調査と報告2). コルヌイエ:十文字学園高齢社会生活研究所紀要. 2003 (5), p.17-33.
31. 西藤寿太郎. 公共図書館における高齢者サービスについて. 帝塚山学院大学研究論集. 1979,(14), p.23-25.
32. 佐藤章. 特集, 高齢者と図書館: お年寄りに紙芝居. みんなの図書館. 1986,(112), p20-22.
33. 佐藤由美. 特集, 図書館の高齢者サービス: こども絵本図書館うらら(詩楽)の森. *Lisn: Library & information science news*. 2015,(165), p.6-8.
34. 品川恭子. 特集, 高齢者と図書館: 老人ホームでの朗読サービス—お年寄り達との交流もまもなく2年朗読会は成幸(せいこう)ホームに根付いてきたようだ. みんなの図書館. 1986,(112), p11-19.
35. 志保田務. 場としての図書館: 高齢者サービス研究のフィードバック. 桃山学院大学司書課程年報. 2014, p.22-31.
36. 志保田務, 立花明彦. 公共図書館を場とした高齢者の知的探求と、その社会還元に関する一考察. 桃山学院大学人間科学. 2014, (45), p.175-204. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009895442>.
37. 嶋田学. 特集, 図書館の高齢者サービス: 高齢者へのサービスを考える: 持ち寄り・見つけ・分け合う広場としての図書館. *Lisn: Library & information science news*. 2015,(165), p.1-5.
38. 嶋田学. 特集, 2013年度図書館学セミナー 現代における公共図書館の運営—中小レポートから50年—: これからの50年を見据えた図書館づくり: 21世紀の中小レポートの実現に向けて(発表3). 図書館界. 2014, 66(1), p.29-34.
39. 嶋田学. 地域を活性化させる図書館活動とは: 公共図書館政策と東近江市立図書館の実践(現場からの提言). 図書館界. 2011, 63(1), p.16-23. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110008670949>.
40. 白根一夫. 特集, 高齢者と図書館: 斐川町立図書館の高齢者サービス—回想法による試み. 現代の図書館. 2006, 44(3), p.150-157.
41. 白根一夫. 特集, いま求められている「高齢者サービス」とは: イギリス公共図書館による「高齢者サービス」—「司書の海外研修」の報告から. 図書館雑誌. 1999, 93(7), p.528-529.
42. 白根一夫. イギリスでみた公共図書館による高齢者サービス. みんなの図書館. 1997, (248), p.62-76.
43. 新谷迪子. 特集, 高齢者と図書館: ロンドン・ワンズワース区の図書館サービス—Housebound Serviceを中心として. みんなの図書館. 1986, (112), p34-36.
44. 菅谷明子, 安藤晴彦. “知的創造空間としての図書館の可能性—ニューヨークの事例から—”. BBLセミナー2003年度実施報告. 独立行政法人経済産業研究所, <http://www.rieti.go.jp/jp/events/bbl/03100701.html>.
45. 菅谷明子. 未来を作る図書館; ニューヨークからの報告. 岩波書店, 2003, p.230.
46. 菅谷明子. アメリカ公共図書館最前線(3) 幼児から高齢者まで地域密着のサービス—ブルックリン公共図書館. 図書館の学校. 2001, (18), p.24-31.
47. 杉原敏彦. 特集, 団塊の世代と図書: 大学におけるシニアの学び支援—広島大学フェニックス入学制度の取り組み. 図書館雑誌. 2007, 101(4), p.224-225.
48. 関口礼子. 高齢者の学習—その傾向と問題—Y町における実証的研究[英文]. 図書館情報学研究報告. 1988, 7(2), p17-28.
49. 瀬沼克彰, 川島聖恵. 発表に力を入れる「あすなろ大学」. 社会教育. 2003, 57(11), p.50-51.

50. 高島涼子. “コミュニティ生涯学習機関としての図書館—高齢者サービス”. 2006年度国立国会図書館調査研究報告書 米国の図書館事情 2007 (図書館研究シリーズ No.40). 国立国会図書館関西館図書館協力課編. 日本図書館協会, 2008, p.335-337. <http://current.ndl.go.jp/node/14421>.
51. 高島涼子. 特集, <第48回研究大会シンポジウム>2007年問題と図書館の今後: 高齢者サービスの課題. 図書館界. 2007, 59(2), p.81-86. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110007985631>.
52. 高島涼子. 特集, 高齢者と図書館: 高齢者と図書館. 現代の図書館. 2006, 44(3), p.119-126.
53. 高島涼子, 真砂良則, 菅原創. 高齢者の読書環境調査: 石川県内におけるケアハウス入居者を対象に. 北陸学院短期大学紀要. 2006, 37, p.207-223. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110004782999>.
54. 高島涼子. 高齢者生涯教育における図書館の役割 (京大大学生涯教育学講座シニアキャンパス実施記念号). 京大大学生涯教育学・図書館情報学研究. 2005, p.195-202. <http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/43865/3/KJ00004183997.pdf>.
55. 高島涼子. 高齢者観の変容と図書館: 1961年・1971年高齢化に関するホワイトハウス会議を契機として (京大大学生涯教育学講座シニアキャンパス実施記念号). 京大大学生涯教育学・図書館情報学研究. 2005, p.107-129. <http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/43859/3/KJ00004183991.pdf>.
56. 高島涼子. 高齢者生涯教育における図書館の役割 (第1分科会<図書館と生涯教育>, 第3回国際図書館学セミナー). 図書館界. 2005, 56(5), p.298. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110007985450>.
57. 高島涼子. 高齢者に喜んでもらうために: ブルックリン公立図書館(USA)高齢者サービス. 図書館界. 2000, 52(3), p.148-154. <http://ci.nii.ac.jp/lognavi?name=nels&lang=ja&type=pdf&id=ART0009574705>.
58. 高島涼子. 北欧における高齢者への図書館サービス: デンマークを中心に. 北陸学院短期大学紀要. 1997, 29, p.181-189. https://hokurikugakuin.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=567&file_id=22&file_no=1.
59. 高島涼子. 特集, 図書館・図書館学の発展—20世紀から21世紀へ: 高齢者への図書館サービス. 図書館界. 1993, 45(1), p.73-78.
60. 高島涼子. 高齢化社会における図書館の役割. 現代の図書館. 1992, 30(1), p.59-70.
61. 高島涼子. アメリカ合衆国における高齢者への図書館サービス. 図書館界. 1991, 43(3), p.138-149.
62. 高島涼子. アメリカ合衆国における高齢者と図書館. 北陸学院短期大学紀要. 1990, 22, p.113-13.
63. 高橋真太郎. 特集, 2013年度図書館学セミナー現代における公共図書館の運営—中小レポートから50年—: 「県民の幸せ」のためにある図書館 (発表4). 図書館界. 2014, 66(1), p.34-39. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009810604>.
64. 竹内静子. 特集, 地域にいきる図書館: 墨田区の図書館サービス—赤ちゃんから高齢者まで. 図書館雑誌. 2006, 100(5), p.278-281.
65. 立花明彦, 志保田務. 特集, 第55回研究大会: "高齢者への図書館サービス"の講義メニュー: 考察と展望 (グループ研究発表). 図書館界. 2014, 66(2), p.146-154.
66. 巽照子. 特集, 団塊の世代と図書: 団塊の世代と図書館サービス. 図書館雑誌. 2007, 101(4), p.222-223.
67. 田中雅博. 特集, いま求められている「高齢者サービス」とは: 医療・福祉と図書館サービス. 図書館雑誌. 1999, 93(7), p.533.
68. 田中朋子. 特集, 高齢者と図書館: エルダーカレッジ—学び続ける中高齢者のための大学. 現代の図書館. 2006, 44(3), p.158-163.
69. 田中寛子, 内田文雄. 滞在施設としての公共図書館における場のつくられ方に関する研究. 山口大学工学部研究報告. 2016, 66(2), p.93-97. <http://memoirs.lib-e.yamaguchi-u.ac.jp/662/11.pdf>.
70. 谷本恭平, 村井裕樹. 図書館の高齢者配慮に関する研究. 日本建築学会中国支部研究報告集. 2012, 35, p.585-588.
71. 田村浩司. 特集, 団塊の世代と図書: 地域デビューミニ講座—団塊・シニア世代の諸君、図書館へ行こう!!—. 図書館雑誌. 2007, 101(4), p.220-221.
72. 辻桂子. 特集, 団塊の世代と図書: としょかん発見塾の「リタイア生活講座」. 図書館雑誌. 2007, 101(4), p.227.
73. 呑海沙織. 特集, シニア世代と図書館: 高齢社会における図書館サービス: サード・エイジと図書館. 図書館雑誌. 2014, 108(5), p.313-315.
74. 呑海沙織, 溝上智恵子. カナダの公共図書館におけるコミュニティ主導型の高齢者サービス. 日本図書館情報学会研究大会発表論文集. 2014, 62, p.97-100.
75. 長倉美恵子. 特集, シニアと図書館: シニアサービス—これからの図書館の重点ターゲット. 図書館の学校. 2005, (68), p.2-7.

76. 中村陽一. 特集, 利用者のつながりを生む諸活動社会デザインからみた図書館: つながりを編み直すワーク, 活かすワーク. 情報の科学と技術, 2014, 64(10), p.401-407.
77. 那須悦子, 山田万知代. 特集, この人の調べ方: 八王子千人塾・佐々木繁さん—シニアの調べを支える八王子市中央図書館. あうる. 2009, (89), p.20-25.
78. 生津知子. イギリス U3A (The University of the Third Age) の理念と実態に関する一考察 (京大大学生涯教育学講座シニアキャンパス実施記念号). 京大大学生涯教育学・図書館情報学研究. 2005, 4, p.91-105. <http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/43858/3/KJ00004183990.pdf>.
79. 秦恵子. 特集, おはなし会のイマ時事情: おはなしをお届けします. 高齢者向けおはなし会:本間病院での経験をとおして. みんなの図書館. 2013, (436), p.24-27.
80. 林貴光, 五十嵐弥生, 宮城干城. 所沢市における図書館の高齢者利用に関するケーススタディー. 工学院大学研究報告. 2004, (96), p.161-168.
81. 原田安啓. 特集, 高齢者と図書館: 老人読書室をつくってみたいけれど… . みんなの図書館. 1986, (112), p.23-25.
82. 日置将之 [コーディネータ], 久野和子, 呑海沙織 ほか. 特集, 第 55 回研究大会: 人と人,人と資料が出会う場としての図書館. 図書館界. 2014, 66(2), p.121-135.
83. 深沢宏, 高崎裕治. 高齢者の「生活の質」に関する研究. 秋田大学教育学部研究紀要 教育科学. 1994, (46), p.53-60.
84. 深沢宏. 高齢者の余暇活動に関する実証的研究—特に身体活動を中心に. 秋田大学教育学部研究紀要 教育科学. 1992, (43), p.15-25.
85. 福富洋一郎. 特集, 利用者のつながりを生む諸活動コミュニティの場としての公共図書館における取り組み. 情報の科学と技術. 2014, 64(10), p.401-40. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009864896>.
86. 福富洋一郎. 特集, 団塊の世代と図書: 図書館活動をサポートする団塊の世代・シニア世代—地域図書館へのサポート活動のすすめ—. 図書館雑誌.2007, 101(4), p.218-219.
87. 藤井美華子. 特集, シニア世代と図書館: 老後をいきいきと健康に!: 鳥取県立図書館のいきいきライフ応援サービス. 図書館雑誌. 2014, 108(5), p.318-319.
88. 藤原佳典, 西真理子, 渡辺直紀, 李相侖, 井上かず子, 吉田裕人, 佐久間尚子, 呉田陽一, 石井賢二, 内田勇人, 角野文彦, 新開省二. 都市部高齢者による世代間交流型ヘルスプロモーションプログラム:"REPRINTS"の1年間の歩みと短期的効果. 日本公衆衛生雑誌. 2006, 53(9), p.702-714. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jph/53/9/53_702/_pdf.
89. 細田愛子. 特集, こんな高齢者サービスやっています: お年寄りといっしょの時間. こどもの図書館. 2009, 56(11), p.7.
90. 堀薫夫. 特集, 図書館でも知っておきたい高齢者の学習を支援するための予備知識: 高齢者が学ぶということ. Lisn:Library&informationsciencenews. 2015, (164), p.1-4.
91. 堀薫夫. 高齢者向けの図書館サービス. カレントアウェアネス. 2010, (306), p.9-12. <http://current.ndl.go.jp/ca1732>.
92. 堀薫夫. 特集, <第 48 回研究大会シンポジウム>2007 年問題と図書館の今後: 高齢者への図書館サービス論から高齢者の図書館利用論・読書論へ. 図書館界. 2007, 59(2), p.67-71. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110007985628>.
93. 堀薫夫. 特集, 高齢者と図書館: 高齢者の図書館利用と読書活動をめぐる問題. 現代の図書館. 2006, 44(3), p.133-139.
94. 松島茂. 特集, 高齢者と図書館: 高齢者サービスを考える—八広図書館の高齢の利用者像から. みんなの図書館. 1986, (112), p.2-10.
95. 松原正樹, 上保秀夫, 宇陀則彦, 呑海沙織, 溝上智恵子. 高齢者の情報行動にかかるデータ収集と可視化. DEIM Forum 2016. 2016, p.6-7. <http://db-event.jpn.org/deim2016/papers/412.pdf>.
96. 松廣睦. 特集, シニア世代と図書館: シニア世代が自ら調べ学習を: 読書のまち八王子の実現に向けて. 図書館雑. 2014, 108(5), p.320-321.
97. 溝上智恵子, 呑海沙織, 綿貫豊昭[編著]. 高齢社会につなぐ図書館の役割: 高齢者の知的欲求と余暇を受け入れる試み. 学文社. 2012, 168p.
98. 三田弥生, 三田加奈, 佐々木修. 高齢者の地域コミュニティにおける「共読」の試み: コミュニケーション力涵養の必要性から. 看護と情報:看護図書館協議会会誌. 2014, 21, p.54-58. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009809710>.
99. 三村敦美. シニア・サービス考: 「自己学習機能」の実践例を中心に. 現代の図書館. 2014, 52(3), p.137-148.
100. 宮原みゆき. 特集, いま求められている「高齢者サービス」とは: 浦安市立図書館の宅配サービスについて. 図書館雑誌. 1999. 93(7), p.534.

101. 村林麻紀. 利用者Mさんとの対話から学ぶ: 公共図書館における高齢者サービスの一例. 談論風発:季刊図書館批評誌. 2013, 8(1), p. 5-10.
102. バーバラ・T.メイツ, 高島涼子ほか[訳]. 高齢者への図書館サービスガイド: 55歳以上図書館利用者へのプログラム作成とサービス. 京都大学図書館情報学研究会, 日本図書館協会, 2006, 233p.
103. 守田磨優. 高齢者と公共図書館. 大宰府国文. 1999,(18), p.51-44.
104. 文部科学省. 霞が関だより (第129回): 高齢者による絵本の読み聞かせ活動. 図書館雑誌. 2014, 108(7), p.480-481.
105. マグヌスセン矢部直美, 吉田右子, 和気尚美. 文化を育むノルウェーの図書館; 物語・ことば・知識が踊る空間. 新評論, 2013, 299p.
106. 山内薫. 本と人をつなぐ図書館員: 障害のある人,赤ちゃんから高齢者まで. 読書工房, 2008, 192p.
107. 山内薫. “事例発表: すべての人に図書館サービスを—高齢者サービスを実践する”. 平成13年度関東地区公共図書館協議会研究集会報告書. 市区町村立図書館運営研究会, 2001, p.44-47.
108. 山内薫. 特集, イネーブル・ライブラリー: 高齢者サービスの現状と課題—自立・参加・ケア・自己実現・尊厳. 現代の図書館. 1999, 37(3), p.142-148.
109. 山内薫. 特集, いま求められている「高齢者サービス」とは: 墨田区の高齢者サービス. 図書館雑誌. 1999, 93(7), p.524-527.
110. 山口源治郎. 公共図書館と生涯学習 (京都大学生涯教育学講座シニアキャンパス実施記念号). 京大大学生涯教育学・図書館情報学研究. 2005, 4, p.225-229. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110004627921>.
111. 山口和江. 図書館サービスの未来を語ろう—チャレンジ!できることからはじめてみよう (サービス部門研究集会): 事例発表2 本吉町立図書館における高齢者サービスの現状について. 全国公共図書館研究集会報告書2004年度. 2004, p.41-44.
112. 山口和江. 特集, いま求められている「高齢者サービス」とは: 老人ホームへの朗読サービスについて. 図書館雑誌. 1999, 93(7), p.532.
113. 山花郁子. 特集, こんな高齢者サービスやってます: 高齢者にむけての読みきかせステップ1. こどもの図書館. 2009, 56(11), p.6.
114. 山花郁子. お年よりと絵本でちょっといい時間: 老人福祉施設での読みきかせガイド. 一声社, 2003, 191p.
115. 山本恒夫. 高齢者の学習と健康. 図書館雑誌. 2000, 94(9), p.713-715.
116. 吉田右子. デンマークのにぎやかな公共図書館; 平等・共有・セルフヘルプを実現する場所. 新評論, 2010, 264p.

2. 図書館における高齢者サービスの実態調査

117. 呑海沙織, 志賀渉, 溝上智恵子. 公共図書館における高齢者サービスの現状. 日本図書館情報学会春季研究集会発表論文集. 2014, p.45-48.
118. 村上良和, 小峯裕. 公共図書館における高齢者・障害者向け配慮・サービスに関する全国調査(建築計画). 日本建築学会研究報告. 九州支部 (3,計画系). 2001, (40), p.17-20.

3. 図書館における障害者サービスと高齢者

119. 市橋正光. 読書の楽しみを弱視者(高齢者・低視力者)に—大活字本の出版文化をつくる.みんなの図書館. 2009, (382), p.76-78.
120. 宇野和博. 特集, 読書の遠近法(パースペクティブ): 2010年「国民読書年」に障害者・高齢者の「読書バリアフリー」を考える. 現代の図書館. 2010, 48(1), p.32-38.
121. 宇野和博. 2010年「国民読書年」に向けて障害者・高齢者の「読書バリアフリー」を考える—文字・活字文化振興法の役割. 出版ニュース. 2009, (2190), p.12-15.
122. 梅田ひろみ. 特集, 図書館・情報センターと法制度: 障害者サービスの法的根拠. 情報の科学と技術, 2001, 51(11), p.585-590. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110002829009>.
123. 小林卓, 野口武悟. 図書館サービスの可能性: 利用に障害のある人々へのサービスその動向と分析. 日外アソシエーツ, 2012, 217p.
124. 小林卓. “第1章 日本の公共図書館における障害者サービスの動向: 1995-2010年”. 公共図書館における障害者サービスに関する調査研究. 国立国会図書館編. 株式会社シード・プランニング, 2011, p.5-9. <http://current.ndl.go.jp/node/17977>.
125. 小林卓, 杉本ゆか. 特集, 図書館・図書館学の発展—21世紀初頭の図書館: 「図書館利用に障害のある人々」へのサービス. 図書館界. 2010, 61(5), p.476-494. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110007881073>.

126. 立花明彦 [出席], 服部教司 [出席], 前田章夫 [出席ほか], 松井一郎, 飯田寿美. 障害者サービスと日本図書館研究会: 障害者会員が語る,これまでとこれから. 図書館界. 2014, 66(4), p.286-295. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009865755>.
127. 立花明彦. 科目〈図書館サービス特論〉における障害者サービス論の展開についての検討. 図書館界. 2013, p.136-142. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009624774>.
128. 田中章治. 特集, トピックスで追う図書館とその周辺: 障害者・高齢者の読み書き保障をめざして: 読書権保障協議会の活動. 図書館雑誌. 2012, 106(2), p.88-89.
129. 読書権保障協議会編. 高齢者と障害者のための読み書き〈代読・代筆〉情報支援員入門.小学館, 2012, 222p.
130. 日本図書館協会障害者サービス委員会編. 障害者サービスの今をみる: 2005年障害者サービス全国実態調査(一次)報告書. 日本図書館協会. 2006, 11p.
131. 山口源治郎. 公共図書館と生涯学習(京大大学生涯教育学講座シニアキャンパス実施記念号). 京大大学生涯教育学・図書館情報学研究. 2005, 4, p.225-229. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110004627921>.

4. 図書館における情報アクセシビリティと高齢者

132. 石垣尚男. 特集, 図書館でも知っておきたい高齢者の学習を支援するための予備知識:高齢者の読書と眼球運動. *Lisn:Library&informationsciencenews*. 2015, (164), p.14-17.
133. 加藤あけみ. 高齢者に対する情報バリアフリーへの提案: プレゼンテーションの必要性. 静岡福祉大学紀要. 2006, 2, p.1-11. <http://www.suw.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2015/01/4b29c636ddb94f7fdb18f72c28af8c9d.pdf>.
134. 黒田由加, 布目光生, 水岡良彰 ほか, 芦川平, 森田眞弘. 音訳支援システム DaisyRings (TM) を用いた DAISY コンテンツ作成実証実験(オーガナイズドセッション:音以外の手段で音を伝える-聴覚障害者・高齢者のための音インタフェース,聴覚,福祉,音声一般.電子情報通信学会技術研究報告. WIT,福祉情報工学. 2014, 114(92), p.77-82. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009925688>.
135. 佐川賢. 特集, 図書館の高齢者サービス: 高齢者が読みやすい文字. *Lisn:Library&informationsciencenews*. 2015, (165), p.9-12.
136. 佐川賢. 特集, 図書館でも知っておきたい高齢者の学習を支援するための予備知識: 高齢者が読みやすい文字. *Lisn:Library&informationsciencenews*. 2015, (164), p.9-13.
137. 関根千佳. 図書館のユニバーサルデザイン. 情報の科学と技術. 2005, 55(11), p.206-511. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110002829905>.
138. 福田博同. 都道府県立図書館ウェブサイトのアクセシビリティ状況: 2014年度調査と分析. コミュニケーション文化. 2015, (9), p.181-190. <http://artnavi.sakura.ne.jp/librarySci/fukuda201503.pdf>.
139. 福田博同. アクセシビリティを具現化した図書館利用教育: 現状と課題 (1) . 跡見学園女子大学文学部紀要. 2010, 44, p.95-110. http://ci.nii.ac.jp/els/110007558435.pdf?id=ART0009385720&type=pdf&lang=jp&host=cinii&order_no=&ppv_type=0&lang_sw=&no=1488001539&cp=.
140. 安永正史. 特集, 図書館でも知っておきたい高齢者の学習を支援するための予備知識:高齢者の心理特徴とコミュニケーション. *Lisn:Library&informationsciencenews*. 2015, (164), p.5-8.

5. 認知症と図書館

141. 加藤学. 認知症の人にやさしいまちづくりと図書館. *LRG=ライブラリー・リソース・ガイド*. 2016, (16), p.6-52.
142. 鈴木由美子. 認知症とつきあう人々と公共図書館. *みんなの図書館*. 2007,(365), p.23-31
143. 田中克明. 特集, 図書館の話題アラカルト: 認知症にやさしい図書館プロジェクト:誰もが安心して暮らせる地域づくり. 図書館雑誌. 2016, 110(7), p.426-428.
144. 呑海沙織, 溝上智恵子. イギリスの公共図書館における認知症支援サービス. 日本図書館情報学会春季研究集会発表論文集. 2015, p.8-11.
145. Mortensen Helle Arendrup, Nielsen Gyda Skat, 野村美佐子 訳. 特集, 2010年「国民読書年」に向けて—多様な読書ニーズに応え図書館における新たな視点— 認知症の人のためのサービスガイドライン. 図書館雑誌. 2009, 103(7), p.454-456.

6. その他

(1) 高齢期の学習支援に関するもの

146. 江澤和雄. 「超高齢社会」における高齢者の学習支援の課題. レファレンス. 2013,63 (8) , p.5-33.
http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8276393_po_075101.pdf?contentNo=1.
147. 千葉隆司. 市町村博物館と高齢者. 筑波学院大学紀要. 2016, 11, p.147-155.
148. 堀薫夫[編著]. 教育老年学と高齢者学習. 学文社, 2012, 253p.

(2) 認知症に関するもの

149. 小川敬之, 内勢美絵子. 特集, 認知症の人の生活を活性化するリハビリテーション:認知症のリハビリテーション: 認知症初期集中支援. 日本認知症ケア学会誌. 2015, 13 (4) , p.699-704.
150. 小川敬之. 特別講演 認知症の本当の理解 (Evidence と Narrative の接点) (第 15 回認知症予防研究会学術総会要旨集). 認知症予防研究. 2011, 15 (1) , p.7-20.
151. 浜田 利満. 佐野 司. 高齢者セラピー用ロボットの印象に関する調査. 筑波学院大学紀要. 2011, 6, p.43-48.

行政資料等

1. 内閣府

1. 高齢社会白書, <http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/index-w.html>.
2. 高齢社会対策に関する調査, <http://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/kenkyu.html>.
3. 教育・生涯学習に関する世論調査 (世論調査報告書 2012 年 (平成 24 年) 7 月調査) ,
<http://survey.gov-online.go.jp/h27/h27-kyouiku/>.

2. 文部科学省

4. 生涯学習施策に関する調査研究”, http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/chousa/.
5. 超高齢社会における生涯学習の在り方について～人生 100 年 いくつになっても 学ぶ幸せ「幸齢社会」～: 超高齢社会における生涯学習の在り方に関する検討会報告書 (2012 年 (平成 24 年) 3 月) ,
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/03/1318903.htm.
6. 図書館実践事例集 ～人・まち・社会を育む情報拠点を目指して～ (2014 年 (平成 26 年) 3 月) ,
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/jirei/.

3. 厚生労働省

7. 認知症施策推進総合戦略 (新オレンジプラン) ,
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000064084.html>.
8. 認知症の本人及び家族への地域資源を活用した支援に関する調査－自治体における新オレンジプランの実施状況について－: アフターサービス推進室活動報告書 Vol.24 (2016 年 (平成 28 年) 6 月 24 日) ,
<http://www.mhlw.go.jp/iken/after-service-vol24.html>.

4. その他

(1) 全国公共図書館協議会

9. 2015 年度 (平成 27 年) 公立図書館における課題解決支援サービスに関する報告書,
<http://www.library.metro.tokyo.jp/zenkoutou/tabid/4190/Default.aspx>.
10. 2014 年度 (平成 26 年度) 公立図書館における課題解決支援サービスに関する実態調査報告書,
<http://www.library.metro.tokyo.jp/zenkoutou/tabid/4053/Default.aspx>.

(2) 国立教育政策研究所 (生涯学習政策研究部)

11. 多様なパートナーシップによるイノベティブな生涯学習環境の基盤形成に関する研究・事例集: 平成 26～27 年度プロジェクト研究調査研究報告書. 2016, 440p.
https://nier.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=1634&file_id=22&file_no=1.
12. 生涯学習の学習需要の実態とその長期的変化に関する調査研究: 平成 22～24 年度プロジェクト研究調査研究報告書. 2013. 593p,
http://www.nier.go.jp/05_kenkyu_seika/pdf_seika/h24/5_2_all.pdf.